



中津市三光中の2年生はオンラインで東京のIT関連企業を訪問しました。

### 画面越し企業訪問

#### 三光中、授業で初企画

【中津】中津市の三光中（平松豊校長、153人）で12日、オンラインの企業訪問授業があった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常の職場体験学習や社会見学は断念。働くことへの意識を高めようと、初めて企画した。

2年生43人が参加。IT関連業の日立システムズ（本社・東京都）の社員らが画面越しに職場や仕事の内容を紹介した。SE（システムエンジニア）の鈴木裕一朗さん（35）は、ドローンを活用したデータ加工などを担当。3Dモデルを作成したスフィックスの模型と登場した。パソコン作業

だけでなく、コミュニケーションも大事。お客さまが困っていることを、サービスとしてどう提供するかがポイントなどと話した。深蔵（ふかぞう）昌（あきら）二（に）郎（ら）は「働くことについて考えることができて良かった」と笑顔を見せた。平松校長（59）は「コロナ禍の状況だからこそ、東京の会社

社がポイントができた」と話した。同社では、2011年から中高生の職場見学を始めた。今年は、コロナ禍で多数が中止になった。7月からオンライン訪問をメニューに加えたという。

（吉田美佳）



④画面越しにやりとりする三光中生徒⑤仕事内容を説明する企業担当者



① オンライン企業訪問を企画した理由は？

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の職場体験学習や社会見学を断念したから。働くことへの意識を高めようと企画した。

② 2年生が訪問したIT関連企業のSE（システムエンジニア）・鈴木裕一朗さんは、どんな仕事を担当していますか？

ドローンを活用したデータ加工などを担当している。

③ 鈴木さんが、仕事を進めるうえで、重要と思っていることは？

鈴木さんは、「パソコン作業だけでなく、コミュニケーションも大事。お客さまが困っていることを、サービスとしてどう提供するかがポイント」と思っている。

④ あなたはどんな仕事に興味がありますか？その理由は？まわりの人と話し合ってみましょう。